

EVENT MARKETING 91

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 4F-A
TEL.03-6721-5303 sof@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp

アイデアを動かす総合格闘技だ



2023年、イベントはどうなるのか。
あの手、この手で最新の決め技を改良したり、あるいは基本に立ち返って体幹を鍛えたりと、腕いてきた丸2年。
「体験型マーケティングに学び、出会う1日」
として、2016年から2020年まで5回開催してきた「BACKSTAGE」も、2023年2月9日、復活し、最新の学びのアップデートに加え、

もう一度、フィジカルなコミュニケーションの意味とも真摯に向き合う。
というわけで、虎ノ門ヒルズフォーラムの会場は、“出会い”に重点を置き、BtoB/BtoCの大大分類はもとより、カンファレンス、展示会、プロモーション、エンタメ、スポーツ、アート、地方創生、コミュニティといったイベントジャンルの枠を越境し、お互いの決め技をお披露

目したり、共通課題を出し合ったりして、アイデアを動かす総合格闘技のような1日となるもよう。
リアルなコミュニケーションに真っ直ぐ向かう仲間同士、ひざを突き合わせ、面と向かって、久しぶりにじっくり語り尽くしましょう。
学びも、出会いも、段階的なステップアップが標準装備となっている今日この頃、オンライ

ンセッションのインプットも、お忘れなく。
2月9日の11ステージ、事前に配信中のオンライン11セッションから、イベントの未来へのヒントと、新たなお仲間との出会いをお持ち帰りください。久しぶりに、どっぴりとオンラインに振り切った1日。主催者もドキドキしながら待っています。
(写真は全セッション登壇者。1月25日現在)

オンラインでも オフラインでも、
**ビジネスイベントのお悩みは
イベントレジストにお任せください!**



申込受付を統合管理

- ・ウェブ事前受付、オンライン決済
- ・イベントへのスマートチェックイン
- ・動画、ライブ配信の申込者のみの視聴制御



ワンストップで対応可能

- ・企画 ・会場手配 ・デザイン / 施工
- ・運営進行 ・撮影 / 映像 / ライブ配信
- ・申込サイト制作



ビジネスイベントの実績多数

- ・カンファレンス ・セミナー ・展示会
- ・ウェビナー ・オンラインイベントなど



イベントレジスト株式会社
<https://eventregist.com>

資料請求・お問い合わせ
contact@eventregist.com



「BACKSTAGE 2023の歩き方」

オフライン開催のイベントへ参加する動機ってなんだろう。情報のインプットという学びなら、オンラインでも良いけれど、アウトプットし理解を深める、思考を広げ変化するという学びスタイルもある。そのためには、思考の言語化も不可欠。そんな対話のある学びには、出会いが必要だ。出会いをテーマに、2月9日、虎ノ門ヒルズフォーラムで「BACKSTAGE2023」が開催される。

テーマは“出会い”

イベントへの参加動向が変化している2023年は、オフライン開催ならではの“出会い”をテーマに展開。デジタルな事前マッチングから、当日のアナログな交流の仕組み、#backstage23でSNSの場まで、共通課題や興味関心分野、感想でつながって、これからのイベントづくり、マーケティング施策に前進できる同士やお仲間をみつけてほしい。

「BACKSTAGE2023」

会期：2023年2月9日（木）
会場：虎ノ門ヒルズフォーラム
対象：イベント主催者、興行主、コミュニティリーダー、企業・団体・自治体マーケティング担当者、MICEプランナー、人材・組織開発担当者、PR・広報担当者など
公式サイト：
<https://backstage.tours/>

「BACKSTAGE2023」の事前申込の参加者は、2月9日の開催日前に、参加者同士をつなげるイベント向けビジネスマッチングプラットフォーム「Jublia」が利用できる。参加者のリストを事前に閲覧し、イベント当日に会ってみたい参加者に事前にアポイントの打診をすることができる。

出会いの組合せはさまざま。

- ・来場者 x 出展者
- ・来場者 x 来場者
- ・来場者 x スピーカー
- ・来場者 x 主催者

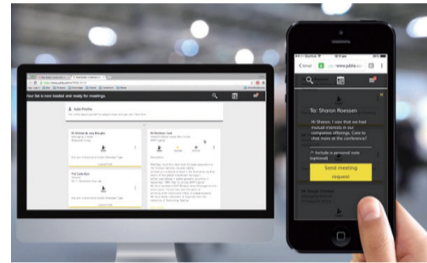
事前登録したメールアドレスに、案内が届いたら、管理ページで自身の商談可能時間帯、プロフィールを設定し、ミーティング相手の検索・リクエスト送信をして準備しよう。

Q 事前にすべきことはありますか？

A オンラインマッチングサービスで参加を120%有効化ください

Q 席は自由？

A 円卓席も。偶然の出会いをお楽しみください



来場者 x 来場者は商談テーブルを用意。来場者 x 出展者は出展ブースにてミーティングを

CONFERENCE STAGEの聴講席は円卓席とイスのみの一般席を用意。円卓席で同席した参加者同士、セッションの前後で情報・感想交換を。後方にはコミュニティパートナーのテーブルに在籍メンバーがいれば、ジャンルを超えたコミュニケーションに。EXHIBITION AREAにはスピーカーを囲んで直接話することができる Fireside chat コーナーも。



「イベントの未来をつくる105人」、「コースケ・よーこのミューツを解除」など、コミュニティや配信番組のテーブルでFace to Faceな出会いの場を用意。Fireside chat コーナーではセッション後のスピーカーに質問をしたり対話ができる

展示会・イベントの持続可能な未来を目指して

国内最大級のディスプレイ製作スタジオ

ワンストップの製作体制を完備

- プロジェクト企画
- デジタル施策
- 装飾・施工
- イベント運営
- 空間設計
- ビジュアルデザイン

株式会社 昭栄美術
〒104-0044 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー25F TEL:03-5148-6651

イベントの成果を最大化する

イベント・アーカイブス

- 取材
- 記事作成
- 写真撮影
- 動画撮影
- ニュース配信

イベント専門出版社の取材力と発信力、撮影・編集のプロフェッショナルとのネットワークを活かし、自社セミナー、新商品発表会、展示会出展などの、プロモーションの様子を再編集し、アーカイブ・編集することで、イベントの出展効果を最大化できます。

イベント・アーカイブスについてのお問合せは
株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル5F
TEL 03-6721-5303 / info@event-marketing.co.jp
<https://www.event-marketing.co.jp>

CONFERENCE STAGEで11 Session EXHIBITION AREAでは出展企業・スピーカーとの交流を

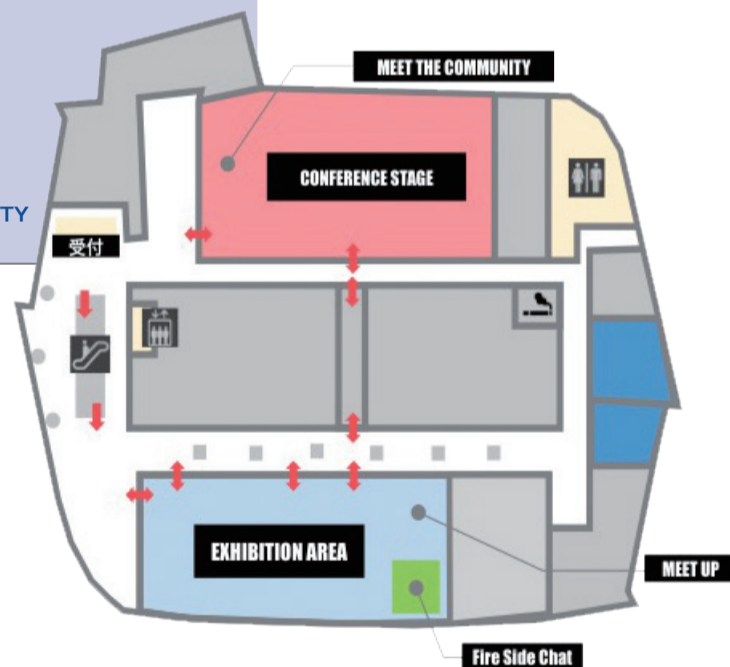
BACKSTAGE2023タイムスケジュール

Time	CONFERENCE STAGE (MAIN HALL)	EXHIBITION AREA (HALL A)
10:00	受付開始	
10:00-10:40	オープニング	
10:40-11:10	Session1 ファンダメンタル B2B マーケティング ～デジタル時代の B2B マーケティング講座・超ダイジェスト	
11:15-11:50	Session2 「価格先進企業」と「価格のプロフェッショナル」が語る 「値決めの未来」	
12:20-12:55	Session3 これが令和のエンターテインメントだ！ ～時代を先取る体験設計の考え方～	Fireside Chat Original Session (11:55～12:15) 北米展示会の今！ ～アニメコンテンツ北米進出のねらいと成果
13:00-13:40	Session4 「City-Tech.Tokyo」間も無く開催！ 東京都初のグローバルスタートアップカンファレンスの魅力とは	【出展ブース(予定)】*順不同 森ビル Pricing Studio サクライインターナショナル Jストリーム Paypal JUBLIA enavle リアルクロス 鈴木電機 マフィン 日本経済新聞社 ロボット モニック stand up A guy's 日本イベント産業振興協会
13:45-14:20	Session5 約 1,500 億円の規模を誇る全米 No.1 プロレス団体「WWE」に 所属していたプロレスラー・ヨシタツが語る 「世界を股にかけるエンタメビジネスとは？」	
14:25-15:00	Session6 日本におけるライブエンターテインメントのポテンシャル	
15:05-15:40	Session7 都市と XR が融合する世界を目指して ～多様なプレイヤーとともに創るクリエイティブエコシステム～	
15:45-16:20	Session 8 世界からみた、これからの日本のサウナ	
16:25-17:00	Session9 スタートアップの決断 — 自社イベントに踏み出すタイミングと、成功に導く組織の作り方	
17:05-17:40	Session10 企業コミュニティ運営者が裏側を語る	
17:45-18:20	Session11 何も無い地方の小さな街に みんなが望む未来を創れ！ 課題が山積みの地方だからこそ、関わる全ての人が輝く ウェルビーイングな町に。	
18:30-		NETWORKING PARTY

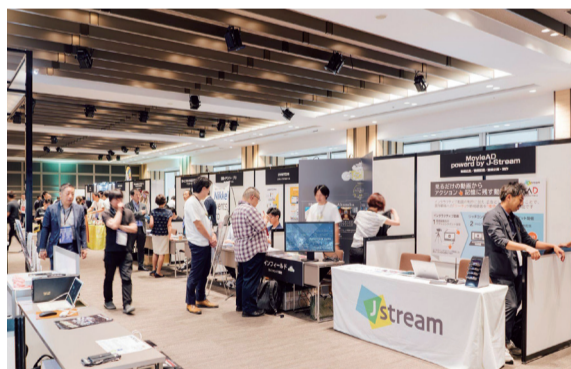


CONFERENCE STAGEでは、全11Sessionを実施。Session 聴講前後には円卓席で偶然、隣同士になった参加者との“出会い”が、学びを深めるきっかけになるかも。後方には、コミュニティエリアもあり、BACKSTAGEのパートナーコミュニティのテーブルが設置されているのでメンバーと業界・ジャンルを超えた交流が期待できる。

EXHIBITION AREA には、出展企業ブースのほか、CONFERENCE STAGEのスピーカーとの Q & A や交流が期待できる Fireside Chat、マッチングサービスで事前セッティングした参加者×参加者 / 参加者×スピーカーなど多様な MEET UP が繰り広げられる。



*2023年1月25日現在。時間や内容は変更になる場合があります



EXHIBITION AREA では出展ブースのほか Fireside chat でのセッションも展開する

スタンドアップガイドは BACKSTAGE のステージ進行、演出、音源制作を担当しています。

イベント成功の方程式 知っています。

おや？ お困りですか？
イベント担当に任命されたあなた。これはチャンスです。あなたの会社のこと、根拠り葉掘りお聞かせください。

EVENT MARKETING からの大事なお知らせ

空間ディスプレイ特集

次の 2 月 28 日号で特集します

私を輝かせるデザインは？

- 3 月 31 日号 イベント会場特集
- 4 月 30 日号 映像特集 /SDGs 実行白書 - イベント編
- 5 月 31 日号 人材・イベント 業界の～働き方
- 6 月 31 日号 イベントの DX
- 7 月 31 日号 イベントの食を考える

広告出稿の間合せはこちら▷株式会社 MICE 研究所
info@event-marketing.co.jp (担当：田中力)

Session 1 ファンダメンタル B2B マーケティング

～デジタル時代の B2B マーケティング講座・超ダイジェスト

10:40-11:10

B2B マーケティングを実践する上での基盤となる思考とフレームワークをお話します。『デジタル時代の B2B マーケティング講座』で教えている内容の超ダイジェスト版となりますが、参加された皆さんには「なるほど!」と内容お持ち帰りいただき、多くの B2B マーケティング関連の記事やセミナー・講座に参加される場合にも、基盤として理解していただきたいと思ひます。



高広 伯彦さん
スケダチ / 社会構想大学院大学

Session 2 「価格先進企業」と「価格のプロフェッショナル」が語る「値決めの未来」

11:15-11:50



クラウドサーカス株式会社
取締役
小友 康広さん



プライシングスタジオ株式会社
代表取締役 CEO
高橋 嘉尋さん

価格や「プライシング」の時代的背景も交えながら、企業はどういう意思決定をしてきたのか、またこれからどうしていけば良いのかについて議論します。

- ・日本の値決めの現在地
 - ・日本の値決めの歴史
 - ・日本の値決めの未来
- セッションの中では、具体的なプライシングの手法についても触れようと思ひます。

Session 5 約 1,500 億円の規模を誇る全米 No.1 プロレス団体「WWE」に所属していたプロレスラー・ヨシタツが語る「世界を股にかけるエンタメビジネスとは？」

13:45-14:20



ヨシタツ選手
全日本プロレス



山口 義徳さん
株式会社リアルクロス
代表取締役社長

日米トップのプロレス団体に所属したプロレスラー・ヨシタツが語る極上のエンターテインメントビジネスとは？

約 1,500 億円の規模を誇る全米 No.1 プロレス団体「WWE」、その世界規模のビジネスを体感して来たヨシタツだから語れる「世界を股にかけるエンタメビジネスとは？」を、“楽しめるプロレス NEWS メディア”プロレス TODAY を運営する株式会社リアルクロス代表の山口義徳とお届けするセッション。

Session 3 これが令和のエンターテインメントだ！

—時代を先取る体験設計の考え方

12:20-12:55

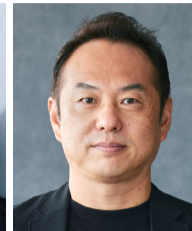
マーケターオブザイヤーのタイトルを持つ貝印・グレートワークス鈴木曜氏と東京五輪 G-satellite ではガンダムの乗る衛星を飛ばし、川崎フロンターレでは数々の類を見ないプロモーションを仕掛けて来た天野氏に、ジュンカムことインフォバーン代表の田中氏が、その体験設計にいたるお二人の哲学と行動原理、またどんな未来が見えているのか、アイデア発想の真髄に迫ります。



天野 春果さん
川崎フロンターレ
プロモーション部 部長



鈴木 曜さん
GREAT WORKS / 貝印
取締役 CCO /
執行役員 CMO



田中 準也さん
株式会社インフォバーン
代表取締役社長

「BACKSTAGE 2023の歩き方」 Session

Session 4 City-Tech.Tokyo 間も無く開催！

—東京都初のグローバルスタートアップカンファレンスの魅力とは

13:00-13:40

スタートアップとのオープンイノベーションで持続可能な社会を実現するためのイベントとして、東京都初となるスタートアップカンファレンスの魅力を、東京都副都知事の宮坂学氏、同イベントアドバイザーで Plug and Play Japan 執行役員 CMO の藤本あゆみ氏とスタートアップ出展者やピッチコンテスト参加者、PR アンバサダーがともに語るセッション。



藤本 あゆみさん
Plug and Play Japan
株式会社
執行役員 CMO
一般社団法人
スタートアップエコシステム
協会代表理事



宮坂 学さん
東京都
副都知事

and more speakers...

Session 6 日本におけるライブエンターテインメントのポテンシャル

14:25-15:00

日本におけるライブエンターテインメントのポテンシャルというテーマから、われわれ spotlight の簡単ご紹介とチームを立ち上げた意義をご紹介し、ここ近年のライブエンターテインメントの変化についてや日本のエンタメコンテンツの海外との関わり方、そしてライブエンタメができるこれからの日本再生・復興、エコシステムの考え方などについて語ります。



御厨 浩一郎さん
spotlight
株式会社 Z
代表取締役



宮田 公夫さん
spotlight
(株式会社 電通ライブ)
プロデューサー/
クリエイティブ
ディレクター



樋口 陽子さん
株式会社 MICE 研究所
月刊イベントマーケティング
編集長

Session **7** **都市とXRが融合する世界を目指して**
 ~多様なプレイヤーとともに創るクリエイティブエコシステム~

🕒 15:05-15:40

都市とXRの融合する世界をつくるためには、森ビルのような都市づくりを担う企業だけではなく、最先端技術や多彩なIPを有する企業、新進気鋭のアーティストやクリエイターたちとの、領域を超えたコラボレーションが必要です。本講演では、虎ノ門ヒルズエリ

アを舞台に11社でスタートした「クリエイティブエコシステム構築に向けた共同プロジェクト」についてお話しします。ビジネス・アート・ファッション・エンターテインメントなどを高次元で融合させ、新たな価値や体験を創出し、東京から広く世界に発信していく仲間を募集中です。



加藤 友規さん
日本テレビ放送網株式会社
社長室 R&D ラボ担当 副部長



朴 正義さん
株式会社バスキュール
代表取締役



杉山 央さん
森森ビル株式会社
新領域企画部

Session **8** **世界からみた、これからの日本のサウナ**

🕒 15:45-16:20



五塔 熱子さん
株式会社一向平

新谷 竹朗さん
株式会社温泉道場
おふる café / Omaturi.Oy

橋本 健太郎さん
株式会社スキーマ
取締役

昨今のサウナブームをふまえて、これからの地域とサウナの関係性を世界のサウナに詳しいサウナーで議論します。

アウフグース世界大会で3位を勝ち取った鳥取県の実業家五塔熱子氏、フィンランドで衝撃を得て埼玉県を中心に全国各地へ温浴施設を展開中のおふるカフェの新谷竹朗氏。CULTURE SAUNA TEAM "AMAMI"としてBRUTUSのヨーロッパサ旅を経て埼玉県を盛り上げる橋本健太郎氏。

世界のサウナを知る3名によるこれからの地方サウナを徹底議論します。

Session **9** **スタートアップの決断**
— 自社イベントに踏み出すタイミングと、成功に導く組織の作り方

🕒 16:25-17:00



株式会社 primeNumber
代表取締役 CEO
田邊 雄樹さん



Still Day One 合同会社
代表社員
パラレルマーケター・エバンジェリス
小島 英揮さん

「あらゆるデータをビジネスの「力に」を目指すスタートアップ・primeNumber は、2022年3月に初の大型自社イベント「01(zeroONE)」を開催。初回にして、1,000名エントリーを得ただけでなく、同年の11月には「01(zeroONE)2022 Autumn」を再び開催し、エントリーはなんと2.6

倍の2,800名越えと急拡大を実現しました。スタートアップ企業の多くが考える「自社イベント実施」の意義とそこに踏み出すタイミング、そして、成功に導くための組織づくりについて、primeNumber 代表の田邊雄樹氏をお招きし、決断から成功までのプロセスについてお聞きします。

Session **10** **企業コミュニティ運営者が裏側を語る**

🕒 17:05-17:40

新型コロナウイルスで分断された、社員部門の信頼関係構築・超えた交流を目的に社内コミュニティを始める企業が増えてきます。実際に企業内コミュニティを運営する3名をお呼びして「企業コ

ミュニティの裏側を語る」と題して、何をしているのか、どんな効果があるのか、そもそも楽しいの？など、コミュニティ運営の裏側を話して頂きます。

BACKSTAGEまで待てないの「コミュニティによる人材育成～越境の効用」のセッションも事前に見て頂きますと、より企業内コミュニティの効果を理解して頂けます。



伊藤 まどかさん
富士通株式会社
富士通100人カイギ
キュレーター
代表取締役 CEO



泰松 遼さん
NTTドコモ
コンテンツサービス部



松野 友樹さん
ソニー株式会社
SA-Link
サブリダー



高嶋 大介さん
株式会社 INTO THE FABRIC
代表取締役

Session **11** **何もない地方の小さな街にみんなが望む未来を創れ!**
課題が山積みの地方だからこそ、関わる全ての人々が輝くウェルビーイングな町に。

🕒 17:45-18:20



金子 るみさん
一般社団法人
横瀬町観光協会事務局



田端 将伸さん
横瀬町役場
まち経営課

現在、様々なメディアで取り上げられ町民による挑戦「あしがくぼの氷柱」が話題の人口8,000人に満たない小さな町、埼玉県横瀬町。日本一チャレンジする町、日本

一チャレンジする人を応援する町として民間と行政のお互いのWinを目指す連携施策「よこらぼ」を展開中。「よこらぼ」は令和4年度ふるさとづくり大賞優秀賞を受賞。そんな町の現場で働く役場職員、観光協会職員と会場で「巡り逢った」皆さんと地方での関わりについて新たな価値を探ります。

Fireside Chat Original Session

北米展示会の今!

~アニメコンテンツ北米進出のねらいと成果~

🕒 11:55-12:15 (Fireside Chat コーナー)



鈴木 珠音さん
サクラインターナショナル株式会社
クロス・マーケティング・クリエイション部 主任



田中 力さん
株式会社 MICE 研究所
代表取締役社長 /
月刊イベントマーケティング副編集長

日本の経済振興の1つの軸として、アニメなど日本の強みであるアニメなどのコンテンツ。その海外市場進出の際にもイベントの力は大きな役割を果たしている。国内外のイベントを手がけるサクラインターナショナルの取組みを通じて、イベントの国際化、イベントを活用した日本企業の国際化について考える。

COO 対談

デジタルギフトで気軽なイベントDX化貢献も

マフィン×イベントレジスト「BACKSTAGE2023」で協力体制をスタート

イベントレジスト株式会社 COO

村松 烈さん (左)

株式会社マフィン取締役 COO

上田 裕大さん (右)

デジタルギフトを提供するmafin (マフィン) では、イベント・セミナー市場での認知拡大・ニーズ掘り下げのため、イベントプラットフォームを提供するイベントレジストとの協力体制を展開する。2月9日開催の「BACKSTAGE2023」で来場者プレゼント施策の実施を皮切りにスタート。協力体制の背景やイベント主催者にとってのメリットについてCOOのお二人に話を聞いた。

—はじめにmafin (マフィン) が提供するデジタルギフトについて、具体的な内容を教えてください

上田 マフィンでは、URLで送れるプレゼントすべてを「デジタルギフト」と総称しています。例えば、誕生日に友達にLINEでコーヒーを送るといった経験をされている方も増えていますが、これもLINEギフトというデジタルギフトの一つです。AmazonギフトカードやPayPayをプレゼントするキャンペーンなど、これら全て、裏側ではURLを送る仕組みです。

マフィンでは、現在、いま挙げた内容を含めた100以上の企業・1000アイテム超の商品を取り揃え、企業キャンペーン、プロモーション、もしくは福利厚生など、企業内外の贈答ニーズに活用いただくよう、提案をしています。

—マーケティング全般で活用が進みそうですね

上田 現在、ニーズとして高いのは、BtoC向けの施策として、例えば、金融、人材、不動産など無形サービスを扱われている企業様のご利用です。目的としては、リードの獲得、申込・購入のインセンティブ提供でのコン

バージョン向上から、アンケート謝礼や追加オプション購入促進・契約更新といった既存顧客維持・満足度向上まで、顧客とのコミュニケーション接点すべてで活用機会があります。アクションを起こしてほしいという企業側の望む方向に進めるのは思ったようにはいきません。そこで、動機づけとしてカジュアルなインセンティブとしてデジタルギフトを提示いただくという形で導入が増えています。

—イベントレジストさんにとって、デジタルギフトmafinとの協力体制にはどんな効果を期待していますか

村松 イベント主催者にとって、昔も今も変わらない課題は集客です。また、加えて現在は、リモートワーク普及とイベントのオンライン参加に慣れたことで、イベント全日参加から部分参加へのシフトなど、動向も変化しています。最近顕著な悩みとして「オフライン開催では申込のタイミングが例年より遅くなっている(直前まで申込数がみえない)」という課題もあります。

どうリアル開催に参加を促進するか、主催者にとってはコンテンツやプログラム構成の工夫が求められて

いて、例えば、1日構成ではなく、複数日の分散開催にする、オンライン開催も用意するなど、コンスタントなコミュニケーション対応など接点のつくり方に変化があります。

その点で、URL送信だけで提案ができるマフィンさんの仕組みの“気軽さ”は大事なポイントだと考えています。イベント業界自体、変化するには時間がかかると思いますが、主催者にも来場者にもわかりやすく、誰に対しても優しい仕組みは、心理ハードルが低く、説明プロセスも簡単です。DX化には気軽に実施した体験を残していくことも重要と考えています。

—2社の協力体制について、BACKSTAGE2023でローンチされると聴きました

上田 2月9日、虎ノ門ヒルズフォーラムに来場いただいた方全員にローソンの「プレミアムロールケーキ(税込167円)1個無料券」に交換できるデジタルギフトをプレゼントさせていただきます。また、アンケート回答者にはさらに、ローソンで「ハーゲンダッツ 各種(税込319円)1個無料券」に交換できるデジタルギフトをプレゼントします。



出展者情報

屋外用新製品のお披露目も

—モニック

モニックの提供する高品質でデザイン性の高い家具とその空間づくりはBACKSTAGE世界観に欠かせない。

同社の出展ブースでは、モニックブランド、LUFUブランドの他に、屋外用の新製品ラインナップも今回初お披露目される。lufu-monic.jp



ポータブル電源など

—鈴木電機

電力設計や工事、照明器具の設置など、展示会やイベントのブースづくりをサポートする鈴木電機。

今回は、1560Wh大容量ポータブル電源「IPS-1600A」などのレンタル商材を出展する。キャリングケースタイプで持ち出し可能で屋外、屋内を問わず使用できる。



バーチャル展 VEOS

—stand up A guys

セッション進行を手がけるstand up A guy'sはブースでオンライン展示会・セミナーのVEOS for Marketing CMSを紹介。展示会やセミナーなど、リアル開催・オンラインの双方のデータを集約したハイブリッドマーケティングを可能にするツールだ。



「BACKSTAGE2023」来場者プレゼント

2月9日、虎ノ門ヒルズフォーラム来場者全員にローソンの「プレミアムロールケーキ(税込167円)1個無料券」(デジタルギフト)をプレゼント。

また、アンケート回答者にはさらに、ローソンの「ハーゲンダッツ 各種(税込319円)1個無料券」(デジタルギフト)もプレゼントします。



マーケティングではどちらを先に考えるべきか?

A 戦術 B 戦略

82%

投票受付中

BACKSTAGE

2023
2.9 THU @TORANOMON HILLS FORUM
体験型マーケティングに学び、出会う1日
#backstage23
BACKSTAGE

出 会 い

今年のテーマは

展示会 開催宣言！

第95回東京国際・ギフト・ショー春2023
第13回LIFE×DESIGN/第15回LIVING&DESIGN春2023
第33回グルメ&ダイニングスタイルショー春2023

規模拡大 東1~7ホール使用し展開

2月15日から17日の3日間、東京ビッグサイトで「第95回東京国際・ギフト・ショー春2023 (TIGS)」...

出展社数は、同時開催展を含め2705社(海外からも16か国・地域から290社が出展)と前回の2022年9月から30%増となった。

昨年9月には約19万人のバイヤーが来場しており、今回の春ショーに向けても、より多くの商談が実現するよう準備している。

出展社が前回の2022年秋より30%増となり、ホールを1つ分追加し「第95回東京国際・ギフト・ショー春2023」を含めた4つの展示会が同時開催に展開される。

周年を迎える
キャラクターの商談にも

TIGSのテーマは「オムニチャネルで、日本経済の再生をPART2」。テーマに合わせて会期中は特別テーマ展示イベント「オムニチャネルで、店舗に集客」を東7ホールで実施する。

また、TIGS内のアニメ・コミック&キャラクターライセンスフェアでは、商品化の商談や制作依頼、売り場提案から商品仕入れが展開されるが、今回2024年に60周年を迎える

「ピンクパンサー」、2025年に55周年を迎える「バーバパパ」などの出展に注目が集まり、周年企画に向けた商談が予想される。

デザイナー喜多俊之氏がプロデュースする住まいと暮らしのリノベーションに関する国際見本市「LIVING & DESIGN」では、特別講演を4本実施。喜多氏と建もの探訪に出演する俳優渡辺篤史さんとの対談では「素敵な暮らし」をテーマに展開される。

グルメ&ダイニング
スタイルショー過去最大

「第33回グルメ&ダイニングスタイルショー春2023」のテーマは「ホームミール新時代!より美味しく、本物・手づくり志向の食卓へ。」とし、527社・331小間と過去最大の出展を集め、展開する。

第95回東京国際・ギフト・ショー春2023
第13回LIFE×DESIGN
第33回グルメ&ダイニングスタイルショー春2023
第15回LIVING&DESIGN春2023

会期: 2023年2月15日(水)~17日(金)
会場: 東京ビッグサイト
東展示棟 東1~7ホール

イルを彩る新感覚のフード&ドリンクが集まる。
「第13回LIFE×DESIGN」には、サウナフェアにこだわりのグッズが集結する。
会場が拡大した今回も、来場者が会場を回りやすいよう、5分間隔でりんかい線国際展示場駅と東京ビッグサイトを無料送迎バスが運行。東6ホールと7ホールを結ぶ通路など、動線を工夫して、来場者を迎える。



© 2023 Alice Taylor & Thomas Taylor ALL RIGHTS RESERVED

2025年に55周年を迎えるバーバパパもライセンスエージェントが集まるゾーンに出展する

LIVING & DESIGN 春2023 特別講演
「素敵な暮らし」(2月15日(水)16:00-17:00)



俳優
渡辺 篤史 さん



プロダクト
デザイナー
喜多 俊之 さん

Advertisement for Suzuki Denki featuring a diagram of a building layout with power lines and text about event services.

Advertisement for IIDA (飯田電機工業株式会社) with contact information for various regional branches.

Large advertisement for MICE Research Institute celebrating its 7th anniversary, featuring a grid of event photos and contact details.

虎ノ門にビジネスイベント施設

霞が関官庁街や虎ノ門オフィスエリアのビジネス・商業施設「日比谷フォートタワー」11階に、今年5月、「日比谷スカイカンファレンス」が開業。1月16日より予約受付を開始した。

同施設は全3室、面積326㎡、最大収容人数296名、天井高4.2mのカンファレンス施設。セミナー、研修、採用イベント、オンライン配信会場から少人数の会議や懇親会まで、多様なビジネスイベントに対応する。

虎ノ門・東京タワー方面を臨める開放感あふれる眺望をもちながら、

ひさしによる直射日光の遮蔽、日光による放射熱を低減するLow-Eガラスを採用するなど、環境面にも配慮。折り上げ天井と間接照明で立体感のある空間を創出。ブルーを基調にした、落ち着いたある内装インテリアも特長となっている。

施設を運営する日本コンベンションサービス(株)は、「G20観光大臣会合」、「第120回日本外科学会」など、数々の国際会議や大型会議を運営するほか、「東京たま未来メッセ」や「神戸コンベンションセンター」など

—— 日比谷スカイカンファレンス



4駅12路線が利用できる好立地の会場

MICE施設の運営にも携わる。施設利用者は同社のオンライン配信サービス、映像音響サービス、イベント・セミナー演出、通訳サービス、議事録作成などの独自サービスも利用できる。

MICEと万博のウェビナー

2月20日、近畿経済産業局はオンラインで「万博×MICEセミナー〜万博インバウンド・ビジネス来場者を地域に呼び込もう〜」を開催する。

時間は15:10から16:30、参加費は無料・事前申込不要で、下記URLから視聴できる。

<https://youtu.be/35GDc0hZdcU>

世界中からビジネスリーダーが集まる2025年の万博を、ビジネスイベント(MICE)開催のニーズに応えるこ

とで、万博の活気を広域へ波及させることを目指す。

講師は、内閣官房内閣審議官国際博覧会推進本部事務局次長の井上孝



オンラインで視聴できる

—— 近畿経済産業局

氏、大阪観光局 MICE 政策統括官兼万博・IR 推進統括官の田中嘉一氏、国土交通省近畿運輸局観光部長岡本昇氏らが務める。

同セミナーでは、はなやか KANSAI 魅力アップアワード、第6回関西インバウンド大賞及び特別賞受賞事例も紹介される。

リアル会場は MICE のユニークベニューとして注目される大阪中之島美術館(入場は招待者のみ)。

イベントレポート

東京 2020 レガシーとイベント大学の構想・妄想



新年会を前に2つのセッションを実施。白熱した議論が交わされた

2月9日、東京都の清澄庭園大正記念館で「イベント学会東日本地域本部2023新年の集い」が開催された。2本のセッションも実施した。

Session1は「The 2 Years After TOKYO2020〜東京オリ・パラのレガシーをレビューし、スポーツまちづくりを語る〜」と題して、日本体育大学スポーツマネジメント学部教授の松瀬学氏、上智大学名誉教授の師岡文男氏、イベント学会東日本地域本部長の町田誠氏がモデレーターとして登壇した。

師岡文男氏は、日本の体育が教育の一環だった過去から、生涯楽しめるスポーツとして位置づけが変わってきたことを、自身のフライングディスクの振興活動や、五輪憲章をもとに説明した。

松瀬学氏は、開催前は広報担当として、会期中はジャーナリストとして関わった東京2020大会のレガシーを、スポーツ人材の育成やマイナー競技のサポート体制、クリーンな運営の重要性など、ヒト・モノ・コトの視点で説明。またラグビーW杯のレガシーとして、ふるさと納税を活用したラグビー振興、北海道ラグビー

ロードマップなどを解説した。

町田誠氏は、経済波及効果でなく参加者や市民が得た幸福感や感動などを得たもので成果を測るべきという考えを示した。

Session2は「新春初夢企画 構想! 妄想 イベント大学」として、目白大学メディア学部教授で東日本地域副部長の岡室竜美氏がモデレーター。日本映画大学映画学部映画学科准教授の藤田直哉氏、宝塚大学東京メディア芸術学部メディア芸術学科教授 学部長の渡邊哲意氏、東京富士大学経営学部イベントプロデュース学科教授の北原隆氏が登壇。イベント大学の設立のために、なにか必要かを考えた。大学、専門職大学、専門学校の違いや、大学認可に必要なこと、専任教員、名誉教授・客員教授と実務家教員の運営体制やカリキュラム、経営戦略などについて語られた。



会場となった清澄庭園 大正記念館

Pick up the Words!

チャンバラ合戦 - 戦 IKUSA、企業研修、瀬戸内・香川の魅力を発掘

謎解きゲームが好きすぎて、自分でつくってしまった池嶋亮さん。アイスブレイク Collection、ふるさと納税ガチャ、フライトシミュレーター施設など多様なイベントをしかり、場の価値を最大化している。アイデアの源泉は展示会やイベント、街、空間をみてインプットを増やすことだという。人数や規模、バズるかどうかわけではなく、なにを成果指標にするかが大切で、開催目的に沿ってきちんと設定すれば、地方でのイベントはより自由に企画できるといふ。池嶋さんが教える、地域の隠れた資源の活かし方とは。



池嶋 亮さん

プランナー / Playable 代表。Setouchi-i-Base コーディネーター 松原市 観光・シティプロモーション課 主幹。

1988年大阪生まれ。学生時代に米NYに留学、イベント制作会社にてインターン。帰国後、の大型商業施設のイベント企画などに従事。2020年4月に独立。企業向け研修の企画、謎解きコンテンツの制作などを行う。



月刊イベントマーケティングの公式 YouTube チャンネルでは、イベント関連のキーパーソンをゲストに招いて「コースケ・よーこのミュートを解除!」を毎週金曜日の12時から30分間お届けしています。1月のゲストは、13日フランス見本市協会 松田由希子さん、27日 Digital Blast 大岩 将士さん。

EVENT MARKETING

FREE PAPER

読者Profile

大手メーカー・メーカー

▶年間イベント件数:約20件
デジタルマーケティングとオフラインを組み合わせて販促とファンづくりに

製薬会社 ミーティングプランナー

▶年間イベント件数:100件超
業界のファーストムーバーとして異業種のトレンドを知り講演会に活かしたい

IT企業向け マーケティングサポーター

▶年間イベント件数:約150件
イベントマーケティングに関わるテクノロジーやツールについて情報収集したい



特集

イベントマーケティングのトレンドを国内外の事例や動向から分析し、メーカー・イベントの皆さんと共有します。



国内・海外ニュース

ツールやテクノロジーの最新情報、開催直前概況・事後レポートなどを紹介します。



コラム

幅広い視野と独自の視点、経験をもつ著名人が執筆します。



インタビュー

リアルコミュニケーションを楽しくをテーマに話題の方々ほか、インバウンド、イベントメーカー、主催者の声を収録。



調査・レポート

効果測定や開催状況の集計、効果最大化の手法など、face to faceを科学するレポートをお届けします。

毎月30日発行

定期送付申し込み

発行所:株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9
ABCビル 5F
TEL03-6721-5303
sofu@event-marketing.co.jp

